

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツコミッション活動推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ企画係

電話番号：058-272-1111 (内 2945)

E-mail: c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,975 千円 (前年度予算額：2,507 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-------|-------|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄 附 金 | そ の 他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 2,507 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,507 |
| 要求額 | 1,975 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,975 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、誘致活動が全国各地で本格化している。また、東京オリンピック・パラリンピック以降も、交流人口の拡大などによる地域経済活性化に向けて、国際大会や全国大会及びそれにかかる事前合宿の本県への誘致活動を展開する必要がある。
- ・合宿誘致にかかり、合宿地に必要な設備などの検証の実施及びさらなる誘致体制の構築や関係機関との連携強化を図る必要がある。また、県内スポーツ大会のブランド化や参加促進を図るとともに、スポーツコミッションやスポーツツーリズムの情報発信や県内関係機関の取り組みの促進を行う必要がある。

(2) 事業内容

- ・スポーツコミッション誘致活動
清流の国ぎふスポーツコミッション連絡会議、障がい者スポーツの日本代表合宿等誘致
- ・全国の関係団体等の取組状況の確認、情報交換

- ・スポーツコミッション情報発信
県内施設やイベント情報を掲載する WEB サイト運営
スポーツ体験プログラムの情報発信

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・「清流の国ぎふ 2020 プロジェクト」に基づき、県内への積極的な誘致活動を行い、県内地域経済の活性化を図るため県費負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|-------------------------|
| 報償費 | 60 | 講師謝金 |
| 旅費 | 48 | 費用弁償 |
| 消耗品費 | 6 | インターネットセキュリティソフト更新ライセンス |
| 会議費 | 1 | 講師お茶 |
| 役務費 | 95 | Wi-Fi 使用料・通信料 |
| 委託料 | 1,554 | 合宿誘致委託、HP 保守管理 等 |
| 使用料 | 161 | 会場使用料 |
| 負担金 | 50 | 全国団体加盟年会費 |
| 合計 | 1,975 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・平成 25 年 3 月に施行された「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」や平成 25 年 11 月に発足した「清流の国ぎふ 2020 プロジェクト推進本部」による推進プロジェクトに基づく事業であり、今後複数年に渡り事業を継続する。

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツによる交流人口拡大及び地域活性化に向け、国際・全国大会及び国内外の強豪チームの合宿を積極的に誘致するとともに、スポーツツーリズムによる大会参加者・同伴者を誘致する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業 開始前 | 指標の推移 | | 現在値 (前々年度末時点) | 目 標 | 達成率 |
|-------------|------------|---------------|---------------|------------------|---------------|-----|
| | | | | | | |
| 新規誘致件数 (累計) | 0 (H25) | 5 大会 (H29) | 7 大会 (H30) | 7 大会 (R1) | 10 大会 (R3) | 70% |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

| |
|--|
| |
|--|

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- ・第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（スピード）を開催
- ・トップクラスチームの合宿誘致（飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア）
青山学院大学、國學院大學、名城大学、大阪学院大学、遊学館高等学校、
洛南高等学校、パラサイクリング日本代表など
- ・YouTube チャンネル「ぎふスポ」を開設し、県スポーツ情報を配信

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

様々な競技の選手・チームを誘致したことにより、合宿を誘致する上でのノウハウが向上したほか、関係機関の連携が深まり、今後さらなる誘致体制・合宿運営の向上が期待できる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 「清流の国ぎふ2020プロジェクト」に基づいた取組であり、東京2020オリンピック・パラリンピック、それ以降の交流人口の拡大などによる地域経済活性化に向けて、国際大会や全国大会の本県への誘致活動を展開する必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | 国際規模の大会の誘致に成功したとともに、様々な競技の合宿を誘致したことにより、地域経済の活性化につながった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | 関係機関と協力し、大会及び合宿の開催・運営をすることができた。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 スポーツコミッションによる大会・合宿誘致の経済効果などの確認及び関係機関の連携強化や取組強化、国内からの誘客強化の促進。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 「清流の国ぎふ2020プロジェクト」に基づいた取組であり、地域のスポーツ振興も期待できるため、今後も事業を継続する。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|---|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | - |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | - |